



道教組
養護教員部報
文責 和田
R2. 9. 24

みなさんお元気ですか？新型コロナウイルス感染症で世の中や学校生活が一変し、不安で苦しく大変な中で子どもたちのために何ができるか模索しながらこれまで過ごされてきたことと思います。道教組養教部としてすこしずつ活動を進めてきましたが、みなさんへの今回の部報が今年度第1号となってしまったことをお許しください。

これまでの経過

- 5月 知事・道教委への緊急要請に養教部からの要請を入れてもらいました。
- 8月 2日 全教養教部総会 (zoom)
- 8月 7日 紙面総会&常任委員会 (zoom)
- 9月 1日 養教部 道教委交渉
- 9月12日 道教組 中央委員会 (zoom)

今年度の役員です

- 部長 和田千鶴子 (宗谷)
 - 常任委員 間山純子 (後志)
押見みゆき (渡島)
中村文恵 (上川)
- どうぞよろしくお願ひします！



いつもと違う 総会 たくさんのご意見ありがとうございました！

例年ですと5月に行っていた総会を新型コロナウイルス感染症で延期にしていました。各地から集まれる状況ではないと判断し各単組部長に承認と各地の様子を紙面でいただき、その後 zoom 常任委員会で交流検討することで総会に替えました。みなさんからいただいたものは道教委交渉の要請につなげています。ご協力ありがとうございました。

↓各単組部長からいただいた各地の様子やご意見は以下の通りです↓

■6月の学校再開後の子どもの様子

- ・子ども達が長期間、休んだことで登校渋りや赤ちゃん返りといった様子が見られる
- ・子ども達の体力低下。登校してくるだけで「疲れた」という。
- ・学校の子どもの問題行動もコロナ騒動がなければ起きなかったかも・・・と思う。
- ・コロナによる自粛生活が続き、保護者の収入減のため就学援助を受ける家庭が増えつつある。教材費の集金やスポーツ振興センターの掛け金はなんとか集まりましたが。
- ・できるだけ密を防ぐようにしているが、子どもたちはどうしてもくっついてしまうので、なかなか密を防ぐことはむずかしい。
- ・6月1日からいきなり部活だったり、土曜授業もあったり、勉強が早いという声もあったりで、子どもも先生も疲れが出ているという意見が多い。夏休みが大幅に縮小されている学校もあります(8月7日終業式ってところもあります)今までも土曜授業をやっていたので子どもたちも慣れていて影響ないという学校もありました。

■養護教諭の様子

- ・コロナの影響で学校が休校になり、大人も子どもも目に見えないストレスが積み重なっているように感じる。同じ町内の新卒3年目の養教がメンタルをやられて休職した。
- ・健康診断は6月からスタートし、おおよそ7月末で終了します。短期間に実施することになり、例年以上に忙しく負担が多く自分の体調を崩しました。
- ・養護教員会の会議も未開催ですから、養護教諭同士の情報交換が不足していました。

■健康診断について

- ・保護者から歯科検診を受けない（コロナ感染の不安から）連絡がありました。
- ・視力検査後、専門医受診者が例年より少ない感じがしました。
- ・健康診断関係は町村ではどんどん実施され、市は2学期以降に実施になります。心電図検査も各学校を回ってくれてよかったという意見もあります。歯科検診では時間がいつも以上にかかりましたが、一人ひとり手袋を交換して感染対策をしっかりとってくれました。

■コロナ対策

- ・毎朝の健康観察や手洗いに時間をとって行っています。放課後に話をする暇もなく、先生方は与えられた仕事を必死にこなしている感じがします。いつまで続くのか。
- ・給食や消毒、掃除など当番活動や生活に関わる場所に関していつまで続くのか、目安は？誰がどう見極めるか。大きな多目的教室で授業をしているけれどいつまで続けるの？
- ・危機管理が薄れて来ているように感じる。意識をどう持たせるかむずかしい。
- ・修学旅行中の健康管理・危機管理をどうするか、第2保健室をどう用意するか、何が必要か、養護教諭はどう対応するか、対応した後はどうするか。いろいろなことが手探り状態。
- ・養護教諭も臨時休校や学校再開にあたって、さまざまな提案や、消毒作業、保健指導など、子ども達、学校を守るためにたくさんの業務を受け持っています。
- ・エタノール不足でヒヤヒヤしていますが、管内企業から体温計や冷風機、エタノール、マスクの寄贈があり、助かっています。
- ・学校薬剤師や学校医からのアドバイスを基に児童の健康管理や衛生管理を行っています。
- ・フツ化物洗口は3月以後、行っていません。
- ・フツ化物洗口は実施していないところがほとんどでしたが、7月現在は実施しているところもあります。手袋をつけてゴミ袋も2重にして、素早くごみ処理をするなど感染対策を取りながら行われています。特に困るようなことはないようです。
- ・フツ化物洗口について、道教組として延期を要望して欲しいです。感染リスクがある教育活動は控え、うがいも控えさせているのに、フツ素は二学期から開始となっています。組合レベルでないと、道教委に要求出来ない事項です。

■組合活動・組織拡大

- ・組合活動も支部会議に月一回出席できる程度。仕事が片付かず、6月以後は執行委員会には欠席している。正直、体がしんどく今までできていたことができないのが現状です。
- ・組織拡大について、コロナの影響で集まることができない中、周りの養護教諭と交流することはとても大事。特に新卒は不安も大きい。そんな中、周りの養護教諭や職場の分会が声をかけ、新卒が2名加入。本当に嬉しいことです。
- ・組合関係なく各市町村ではラインでつながっているところがほとんど。常任委員会も集まることができないので、ズーム会議で交流することができています。
- ・昨年からつながりづくりのためのライングループを組んでいる。今回、それが大変役に立った。わからないことや各町の様子を交流、それぞれの判断に生かすことができました。

道教委交渉



9月1日(火)本部副委員長の新保さんと部長の和田と常任委員の中村先生の3人で道教委交渉に行ってきました。要請書と養護教諭の定数増を求める要求署名5412筆を渡し、定数増と学校環境衛生と新型コロナウイルスに関わることについて要請してきました。「定数については、一般教員増とともに引き続き国へ要望して行く」「環境衛生と新型コロナ対策については、担当部と市町村に伝えていく」という回答にとどまりました。一緒に行った中村常任委員さんからは、大規模校の保健室の現状について、和田からはみなさんから頂いたコロナ禍での各地の状況を伝えました。詳しい回答内容は、別紙をご覧ください。

今年度の署名用紙が届いていると思います。次年度の道教委交渉に提出し養護教諭の配置基準改善につなげていきます。署名用紙を届けるのが遅かったのと新型コロナに気を付けながらとなりますので例年のようにはいかないと思います。無理のない取り組みをお願いします。



2020年 合同教育研究集会(合同教研)で学びましょう!

日時・内容 11月7日(土) 12:20~全体講演 (オンライン)

11月8日(日) 分科会開催 (オンライン)

なんと今年の合同教研はオンライン(ZOOM)開催です。レポーターが1人でもいれば、その分科会は開催となります。レポート申し込み締め切りは10月16日となっています。

様々な研究会が中止となっている中で、自宅から簡単に参加できる研究会は貴重です。コロナ禍での子どもの様子や実践を持ち寄りませんか? A4 1枚でもOKです。

詳しくは各単組にお問い合わせください。

宗谷で養護教諭2名の加入がありました。うれしいとともに、力が湧きますね。ところで、昨年12月におこなったアンケートのご協力ありがとうございました。「みなさんに聞いてみたいことがある」「つながりたい」などのご意見がありました。現在養教部員は48名。養教部zoom交流会をできないかと検討中です。暑かった夏も過ぎ、秋に突入です。コロナ予算で要望していた物はまだ来ず、きっと来年用ですね。お体に気を付けて皆様お過ごしください。(和)

